



Inaho Senior Net いなほシニアネット

第52号
2024年2月4日 発行

新しい年を迎えて
～創立50年のご支援に感謝します～



社会福祉法人 上越老人福祉協会
理事長 川室 優ゆう

名峰妙高山の冠雪は未だ深く、春の足音はまだ先のことと思います。雪国の越後高田では、冬から春に変わる時、最も美しく輝く時季を迎えます。暖かな春を迎える兆しとして、野山では雪の下から力強く芽吹く新芽が、そして田畑では小さな昆虫の蠢きが“生命”を感じさせてくれます。

今年度、法人は創立50周年を迎えました。昭和48年、上越市の諏訪地区に法人の許認可を受けて、その後は地域の期待と時流に乗って、大きな発展を遂げて今に至ります。この節目に、役職員一同改めて感謝すると同時に責任と期待を背負い、新たなスタートを切ることとします。今後も更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

このことに伴い、法人では、昨年2つの大きな創立記念事業を実施しました。二貫寺の森が背景となる地域に建設された「いなほ園」が開所以来、物心共に支援を受けている「常心会川室記念病院」（開院145周年）と合同で、まずは、令和5年11月15日に創立記念式典を挙行了しました。式典では、上越市長はじめ国会議員、県議会議長、県老協協会長など多くのご来賓よりご出席を賜り、身に余る言葉や激励をいただきました。また、祝賀会の席には、私がかねてから親交のある「公益財団法人渋沢栄一記念財団」の業務執行理事で、渋沢栄一氏を高祖父に持つ渋沢田鶴子さんよりお祝いのスピー

チをいただきました。法人が以前3年間にわたって開催したスーパービジョンセミナーのお話に触れられ、私共は当時を懐かしく思い出しました。ご出席いただいた皆様のおかげで、厳粛な式典と和やかな祝賀会を無事に終えることが出来ました。

さらに令和5年12月3日には、スピードスケート金メダリストの小平奈緒さんをお迎えし、「人とつながる」の演題の下に創立記念講演会を開催しました。満席となった会場では、スケートとの出会いや、スピードスケーター時代に体験されたご苦労など、映像を交えてご講演いただきました。小平さんは、私の大学の同窓である相澤孝夫先生の相澤病院で、ブランドアンバサダーを務めておられ、そのご縁があり、直接ご依頼させていただき、ご講演が叶いました。小平さんのご講演の内容からも窺えましたが、気さくな人柄に触れ、私はじめ役職員、参加された全ての方々が幸せな時間を過ごすことが出来ました。

最後に、法人創立50周年に際し、これまでご支援賜りました国、県、市をはじめ各種団体、またご尽力いただきました役職員、そして支えていただいている地域の皆様、ご利用者の皆様に心より感謝申し上げます。また、今に留まることなく、新たに未来に向かって邁進していきたいと存じます。

社会福祉法人上越老人福祉協会創立50周年記念式典・祝賀会

令和5年11月15日(水)午後2時から
於:「アートホテル」上越市本町5丁目

上越地域における高齢者福祉の向上を目的とする上越老人福祉協会が、昭和48年に設立されてから50周年を迎えた。法人設立以来、多くの人々から温かいご支援・ご援助をいただき、現在法人が行う事業は18事業、従事する職員は400人にまで拡大した。

法人50年の歴史を振り返り、ご支援をいただいている皆様と喜びをともにする場として、法人創立50周年記念式典・祝賀会を、関連法人である常心会川室記念病院との合同開催で計画された。

今回の記念式典・祝賀会参加者は、新型コロナウイルスの影響等を考慮し、来賓の皆様と、法人役員、事業管理者、永年勤続表彰職員の総勢105名という規模での開催された。

1. 50周年記念式典

川室理事長式辞

本日はご多用にもかかわらず、新潟県福祉保健部長様、上越市長様はじめ関係各位より上越老人福祉協会創立50周年記念式典に際し、ご臨席賜りまして、職員一同この上ない喜びでございます。また永年勤続表彰者の方々に対して「労いと祝意」を共に出来ますことを嬉しく思います。

同時に、日頃より皆様からお寄せ頂く温かなご指導ご支援に深く感謝申し上げます。

日本が高齢化社会に突入する時代となった昭和45年(1970)当時、柏崎地域を含む上越地域には特別養護老人ホームは一つもなく、「上越に特養を!」の熱い声が市町村はじめ様々な住民団体から前理事長 川室道隆のもとに寄せられました。

その声に応える形で、自らが運営する川室記念病院に隣接して特養を設置することを決意し、昭和48年(1973)に上越老人福祉協会を設立、翌年に県内5番目となる特別養護老人ホームいなほ園が誕生しました。現在では特養新光園、老健高田の郷を始め、上越地域で先駆的な事業を次々に展開し、多種多様な18の事業を運営しております。

私が理事長に就任し、法人理念「老いることが輝く社会に」を新たに掲げました。そして、グループワーク、ケアマネジメント等の実践的な課題に応じた公開セミナーを行い、上越地域の介護人材の育成を重視して参りました。実践的スーパービジョンセミナー研修では、講義、事例発表、ワークショップ等を組み合わせた密度の濃い研修が行われました。

また、老人施設のコミュニティとの関わりを中心とした高齢者地域保健システム等の学びの機会や、認知症ケアの指導に尽力して参りました。

これらのことが、当法人職員の研修体制の基礎を作り、現在における大きな財産となっています。

高齢化率が30%を超える超高齢社会を迎えた今、さらに地域のニーズに適應していく質の高い老人福祉サービスの提供が望まれています。

当法人は、今後も職員共に一丸となり、より一層の努力をしていく所存です。

そして皆様に心から感謝いたしますと共に、皆様へ「豊かな命の営み、と称する「仁寿」をご祈念申し上げます。



令和5年11月15日

社会福祉法人 上越老人福祉協会 理事長 川室 優

来賓代表祝辞



上越市長
代理：上越副市長
八木 智学 様



新潟県福祉保健部長
代理：上越地域振興局
健康福祉環境部長
野口 良二 様



新潟県老人福祉施設協議会
会長
山田 淳子 様

記念コンサート

式典の後、CHIKO様による記念コンサートが開催された。中島みゆき「糸」など、5曲披露され、参加された皆様から大変好評だった。



父の母国コンゴ民主共和国に伝わる民謡をベースにしたアフリカ音楽を中心に、ジャズやソウルなどでも活動している音楽家。

長年にわたり、当法人を含め和道医療福祉グループとの交流が深まっています。パワフルでステキな歌声は、和道医療福祉グループが主催するイベント等では欠かせない存在になっています。

2. 祝賀会

祝賀会では、はじめに記念式典が無事遂行されたお礼を川室理事長が述べられた後、川室記念病院烏帽子田医院長が挨拶申し上げた。

来賓を代表し、医療法人崇徳会会長田宮崇様より、前理事長との思い出など、懐かしいエピソードを交えた祝辞をいただいた。続いて、衆議院議員高鳥修一様より祝辞をいただいた。

上越医師会会長高橋慶一様より乾杯のご発声をいただき、祝宴が始まった。祝宴では、今年7月に設立された和・道厚生事業団からお祝いとして岩の原ワインが振る舞われ、ご来賓の皆様楽しんでいただいた。

その後、公益社団法人渋沢栄一記念財団業務執行理事渋沢田鶴子様より、お祝いのスピーチをいただいた。渋沢様から、スーパービジョンセミナーでの思い出など、貴重なお話をいただいた。



謝辞 51年目に向けて

社会福祉法人 上越老人福祉協会
理事・顧問 山崎 隆昌

川室記念病院は145年、上越老人福祉協会は50年の歴史の上に今日の日があります。さらに高田西城病院は103年、上越つくしの里医療福祉協会は32年、仁寿会は26年の長い時間の積み重ねの上にあります。

この5法人の事業の根底には、川室道一から始まり、川室貫治、川室道隆、そして現理事長川室優と受け継がれたその譜系の中で、各法人の事業が展開され、そこにおいて培われて来た三つの事業理念があります。

その一つは、人間のいのちへの畏敬の念であり、人間の尊厳と人権を尊ぶ心であり、その差別や偏見に対する平等心です。私達はこのことを『仁寿』の言葉で共有しております。

二つ目は、地域に根差し、地域で生活している皆様のニーズに応え、共に歩む姿勢です。川室理事長は「地域とは行政区ではありません。私達を必要とする人達が生活されている所が地域です」と述べられています。

三つ目は、常に未来を見据え、新たなビジョンを創造し、その実現に取り組む変革の精神です。先駆性とも言えるでしょう。

私達はこの事業理念を誇りに思うと同時に責任の重さを感じております。

今日の日を期に、新たな歴史づくりが始まります。

社会学者の大野晃教授が「過疎化が進み65歳以上の人口が50%を超え、社会的共同生活の維持が困難な状況にある集落を限界集落という」とのテーゼを提唱したのが1988年、わずか35年前のことです。今や大野晃教授の予測を遥かに超えたスピードで過疎化が進み、人々の社会的共同生活が構造的に大きく変わりました。これからの医療、福祉のあり方も、複雑でかつ不透明であり、私達の事業環境は厳しい状況にあります。

だからこそ、温故知新。

私達は、100年を遥かに超える歴史の中で築かれた豊かな成果に学び、これからの新たな医療福祉事業を創造的に展開し続ける所存です。



山崎隆昌氏は、現法人理事で、元法人事務局長並びにいなほ園長を歴任。法人の立ち上げから翌年のいなほ園の開所、その後の法人の繁栄にご尽力されました。

また、新潟県老人福祉施設協議会の副会長を務め、組織改編を先頭に立ってすすめられた他、上越地区のみならず、新潟県下の福祉事業の発展と深化に大きな影響を与えたことから、令和2年度新潟県知事一般功労者(社会福祉)を受賞。

山崎隆昌氏は、令和6年1月19日(金)に永眠されました。心からご冥福をお祈りいたします。



『人とつながる』

講師 相澤病院ブランドアンバサダー 小平奈緒氏

12月3日(日)リージョンプラザ上越コンサートホールを会場に、小平奈緒氏をお招きし、『人とつながる』をテーマに記念講演会を開催した。

同講演会はこれまで法人に対してご支援をいただいた地域や医療・福祉・教育関係者に感謝を伝え、今後の発展を約束する機会として企画された。

チケットはネット申込み受付開始後3時間で終了し、小平氏の人気のほどが窺えた。

当日のコンサートホールは400名の観覧者であつという間に満席となり、小平氏が登壇すると大きな拍手が沸き起こった。近況や現在の仕事の様子などをお話され、笑いを誘いながら和やかな雰囲気が始まった。

テレビで見る印象通り、凛としたトップアスリートの佇まいに息をのみ、どれも初めて聞くお話しに引き込まれた。楽しく、時には切なく、笑ったり、涙したり、あつという間に時間が過ぎていった。

講演会終了に花束を渡した少年には、目線まで腰を落として優しく話しかけ、同施設内にあるスケートリンクにサプライズ登場して滑走者を驚かせるなど、小平氏の人となりを垣間見ることもできた。

現在、ひとや心をつなぐ活動を行っている小平氏。今回の講演会を通して、小平氏が繋がって来たたくさんの人たちとのエピソードから思考や気持ちを切り替える技術を学んだ。小平氏が繋いできたひとや心に触れた濃密で心温まる1時間を過ごすことができた。



社会福祉法人 上越老人福祉協会 創立50周年記念事業
感謝法人 安心会 川原記念病院 創立145周年記念事業

講師 / 相澤病院ブランドアンバサダー
Naoko Koizumi 小平 奈緒氏

日時 令和5年 12月3日(日) 14:00~15:00 開場 13:00
会場 リージョンプラザ上越 コンサートホール
上越市下町南 446-2

定員 400名 (申込順に定員、抽せんあり)
参加費 無料 (お茶代別途)
申込方法 10月16日(月)より、右の二次元コードのフォームからお申し込みください。
チケットは抽せんとなります。

特別観覧老人ホームいなか園 TEL.025-520-2121 (平日 8:30~17:30)
主催 社会福祉法人 上越老人福祉協会・医療法人 安心会 理事長 川原 博
共催 川原記念病院、社会福祉法人 上越こころと暮らしの福祉協会、学校法人 C.A. 第一社会人 財団理事長 藤田 隆夫、上越市老人福祉センター、上越市福祉協議会



法人創立50周年 永年勤続表彰

謝 辞

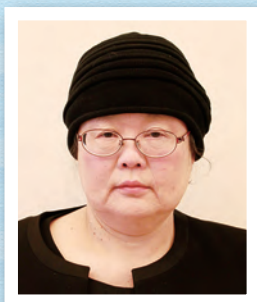


勤続30年 新光園 村松 勝弘

法人創立50周年記念の輝ける日に永年勤続表彰を頂戴し身に余る光栄に存じます。

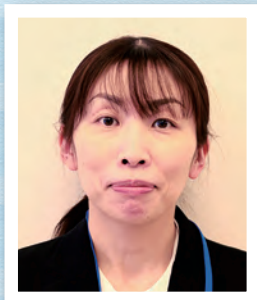
平成20年にケアハウス上越の施設長を拝命しました。上越市の委託事業者として、また社会福祉法人職員として地域の期待に応えていなかったことに対して理事長先生から貴重な助言をいただきました。このことは今でも管理者としての中核をなしています。

今後も利用者の幸せに反映できるよう、微力ではありますが出来ることに誠心誠意取り組んで参ります。



勤続40年 光寿の家 澤海 康子

私は昭和58年に就職しました。その頃一番年下の私は、何もわからず皆さんにいろいろ教えて頂きました。月日が経ち、気が付けば私が一番年上になりましたが、若い方から学ぶことも多く、いまだに勉強の毎日なのです。これらのことから私は、『私以外の人は私の先生である』と思うようになりました。これからも学ぶ姿勢を大切にしていきたいと思えます。



勤続20年 新光園 梨本 亜沙美

法人創立50周年の善き日に永年勤続表彰をいただき、光栄に存じます。生活相談員として、20年勤続できたことは、ご利用者や職場の仲間にも恵まれたおかげだと感謝しております。

今後もより良い支援が出来るよう努めてまいります。



勤続10年 いなほ園 梅澤 博美

法人創立50周年の節目の記念式典におきまして永年勤続表彰をいただきありがとうございます。振り返ってみるとあっという間の10年でした。今までご指導くださった方々に感謝の気持ちを忘れず、これからは健康に気を付けて微力ながら頑張りたいと思えます。

法人50周年・いなほ園49周年記念行事について

いなほ園では令和5年9月23日に、上越老人福祉協会の創立50周年に合わせ、家族会総会、敬老会、作品展を同時開催しました。

いなほ園創立49周年を迎えて

いなほ園創立49周年、おめでとうございます。特別養護老人ホームいなほ園が、1974年に上越地域の第一号として創立されたと伺っています。創立当初は人生80歳時代だったそうですが、今日では人生100歳時代に迫ろうかという長寿社会になりつつあります。私の母も難病を罹患し80歳前半で入所させて頂きましたが、スタッフの皆様のおかげで楽しく過ごさせて頂いております。少子高齢化が急速に進む環境の中で、益々必要性が増す施設を微力ではありますが家族会として支えさせて頂きたいと思っております。これまでの事業継続に感謝し、今後の更なる発展をお祈りします。

いなほ園家族会 会長 川村 寿幸

敬老会



今年度お祝いの方への表彰式が行われました。また、100歳の方には国、県、市よりお祝い状と記念品が届きました。本当におめでとうございます。

家族会総会



初めての試みとして、敬老会表彰式の様子をZOOMを通して、ご家族の皆様にご覧いただきました。

利用者の声

いい所にいれてもらってありがとうございます。
ごぞいます。 春日井 房子 様
おめでとうございます。
90代男性利用者
これからも朱鷺のように高く強く舞い
上がってください。 70代男性利用者

園長より

いなほ園をご利用されているみなさまへ

敬老の日を迎え、皆様のご長寿(ちょうじゅ)、心よりお喜び申し上げます。大正、昭和、平成そして令和の厳しい時代をたくましく、明るく生きてこられたみなさんには感動を覚えます。そして、今、私たちが平和に安心して暮らすことができる毎日を作り上げ、また色々教えていただいたことにも感謝しています。

これからは、私たちが皆さんを大切に護っていきます。そして、共に明るい明日を創っていきましょう。どうか、これからもお元気にお過ごしください。

令和 5年 9月23日
特別養護老人ホームいなほ園
園長 金子 美朗

第2回全国老人福祉施設大会・研究会議 ～ JS フェスティバル in 岐阜～

ケアハウスみのりの家 生活相談員 村松 雄太



11月29日30日の2日間にわたり、岐阜県岐阜市において第2回全国老人福祉施設大会・研究会議 ～JSフェスティバルin岐阜～ が開催され、当ケアハウスの取り組みについて発表してまいりました。

これは、9月に開催された関東ブロック老人福祉施設研究総会において優秀賞をいただき、全国大会への推薦をいただいたことによるもので、関東ブロック代表として

全国大会にて発表する機会をいただきました。

発表は「地域包括ケアシステムにおけるケアハウスの役割 ～支援システムの構築と社会資源との連携について～」と題して、近年増加している多様な生活課題を抱えるケアハウスの申込者、入居者に対する相談、支援システムの構築と、ケアハウスでの生活継続のために必要な社会資源との連携について、その取り組みと事例を発表しました。

研究発表に際しては新潟県、関東ブロック代表として恥ずかしくないよう、何度も資料を直し、練習を重ね、会場の雰囲気にも圧倒されながらも無事に発表することができました。ご指導いただいた上司や先輩、同僚の応援やフォローのおかげです。また、大会前日には、みのりの家入居者の皆さんからも壮行会を開催していただき、勇気と元気をいただきました。

大会では自身の発表の他に、先駆的な取り組み、実践報告を聞くことができ、非常に多くの気づきや学びがありました。さらに、他施設の様々な職種の方との交流、意見交換も非常によい刺激となりました。

今回の貴重な経験、学んだことを今後活かしていきたいと思えます。



いなほシニアネット

943-0101

上越市上真砂 219 番地

TEL 025-520-2121 (代表)

FAX 025-520-2122

ホームページ : <https://www.inaho-s-net.com>



あとがき

私事ですが、庭に積もった雪で子供に大きなトトロを作ると、大喜びでした。仕事においても、皆様に喜んでもらえるように、日々精進して参ります。

2月に入りましたが、まだまだ寒い日が続いております。お体に気をつけてお過ごしください。

上越老人福祉協会
報

第52号